

2024 度（第 14 事業年度）

# 「事業報告書」

一般財団法人 Ruby アソシエーション

## 1 事業の概要

2024年度の当財団の活動は、利用者がRubyを安定して利用できるよう、また便利に使えるように、Ruby安定版の保守事業、公募型開発プロジェクトの開発支援、Rubyの開発コミュニティに対して開発サーバー費支援を昨年度に引き続き継続しました。これらの開発による成果は、多くのRubyユーザーに恩恵をもたらすことが期待されます。

2024年度も集客型のセミナーを東京と大阪で開催しました。また、開発助成の成果報告会や技術者向けのセミナーはオンライン開催し、当日の動画を公開することにより情報発信を行いました。

当財団は、その目的であるRuby関連のプロジェクトやコミュニティ、ビジネスの関係をより良好なものとし（「Ruby Eco System」の構築）、ビジネス分野におけるRubyの利用に関する諸課題の解決に取り組みました。

本書では当財団の2024年度の実施状況について報告します。

## 2 体制及びその変更

### 1) 評議員

2024年度評議員

- ・ 出田 健二 (株)まちづくり三鷹
- ・ 大場 寧子 (株)万葉
- ・ 小崎 資広 富士通(株)
- ・ 後藤 裕蔵 (株)ネットワーク応用通信研究所
- ・ 細美 彰宏 (株)日立ソリューションズ
- ・ 立久井 正和 (株)インターネットイニシアティブ
- ・ 中島 宏 (株)DTS
- ・ 羽田 昭裕 BIPROGY(株)
- ・ 森 正弥 (株)博報堂DYホールディングス

### 2) 理事

- ・ 代表理事 理事長 松本 行弘
- ・ 副理事長 井上 浩
- ・ 理事 橋本 明彦  
田中 和明  
笹田 耕一

### 3) 監事、顧問及び事務局

- ・ 監 事 今岡 正一（公認会計士）
- ・ 顧 問 上定 昭仁 松江市長、丸山 達也 島根県知事
- ・ 事務局 前田修吾（事務局長）が事務局業務全般を統括し、常勤スタッフ1名と外部委託1名の体制です。その他、松江市、島根県による人的支援によって運営しました。また、事例収集のため外部のライターと契約を行っています。

#### 4) 評議員選定委員会

- ・委員長 立久井 正和 (評議員)
- ・委員 今岡 正一 (監事)、横田 早百合 (事務局員)、高橋 征義 (外部委員)、田中 哲 (外部委員)

### 3 実施事業

#### 1) Ruby 開発及びその他支援事業

##### (1) 公募型開発支援プロジェクト

Ruby 及び周辺環境の改善を目的に Ruby 処理系、ライブラリ及びフレームワークに関連する開発プロジェクト (既存のソフトウェアを改良するプロジェクトを含む) を公募し、開発助成委員会で選考の結果、以下 5 件のプロジェクトを採択しました。

いずれも 2025 年 3 月 31 日までに開発を終え、その成果を公開します。

- ・応募件数 : 5 件
- ・採択件数 : 3 件

① 採択者 : 羽角 均	プロジェクト : PicoRuby2: VMにmrubyを利用した新PicoRuby
現在、PicoRuby の VM は mruby/c である。これには省メモリという大きなメリットがある一方、Ruby 言語仕様の不足、C から Ruby メソッドを呼べないなどの制限もある。本プロジェクトは、汎用の組み込み言語である mruby とマイコンアプリ開発のノウハウを持つ PicoRuby エコシステムを統合する。これにより、マイコンプログラミングに ISO/IEC 30170 準拠の Ruby を届け、アプリケーション開発の幅を拡大することをねらう。	
② 採択者 : 大倉 雅史	プロジェクト : RDocへの拡張機能基盤の実装
Rubyのドキュメンテーション関連ツールとしては標準添付のRDocと広く使われるYARDが存在しており、記法を含めて統一されていない状況が長く続いています。近年ではrbs-inlineも登場するなどし、ドキュメンテーションツールについての要求は高まる一方、対応は進んでいません。本プロジェクトでは、RDocにドキュメンテーションツールを集約するという方針の下、RDocに拡張機構を実装することで様々な要望に応えられる基盤を作ります。	
③ 採択者 : tokujiros	プロジェクト : Processing Gem ベースの2D レトロゲームエンジンの開発
昨年度採択された「CRuby 用 Processing Gem の本家 Processing との互換性向上に向けた取り組み」を基に、その成果物である Processing Gem を活用し、新たに 2D レトロゲームエンジンの開発を行います。このゲームエンジンはレトロゲームをターゲットとし、解像度や色数、オーディオ関連の仕様に意図的な制限を設けることで、ゲーム開発の複雑さを軽減し、初心者でも手軽にゲーム制作を始められる環境を提供します。Ruby と Processing を基盤とするこのゲームエンジンの開発により、Ruby を活用したゲーム制作の幅を広げ、コミュニティの発展に貢献することを目指しています。	

## (2) その他の助成

用途を限定しない助成金の申請窓口を設置し、公募型開発以外の分野でも助成を受け付けましたが、2024年度は申請がありませんでした。

## (3) Ruby 安定版保守事業

ユーザーが安心して Ruby を利用できる環境を構築するため、Ruby 安定版の保守事業を実施しています。2024年度はボランティア・フルタイムコミッタの方により保守作業が行われたため、委託費用は発生しませんでした。

## (4) サーバー運営費支援

Ruby の開発コミュニティに対して開発サーバー費を支援しました。

## (5) Ruby 開発合宿

RubyWorld Conference 前日に松江に Ruby ハッカソンを開催し Ruby コミッタへの旅費、宿泊費の補助しました。

## 2) 情報発信事業

### (1) 事例紹介

協賛会員をはじめ、Ruby をビジネス利用する企業の企業担当者にオンラインで取材し、概要情報と詳細情報を作成しました。これらの情報は、利用時の背景事情、適用されたビジネス・システム分野やその特性など、利用企業のみならずエンドユーザー(企業や個人の場合あり)の損益にも深く関わる場合があることから、公開前に利用企業等による内容確認を実施し(その際にエンドユーザーに了解を得ることもあった)、関係者合意の上で財団ホームページに掲載しました。2024年度は新たに6件の利用事例を紹介しました。

2024 年度掲載企業	テーマ
レンティオ株式会社	「捨てる」を減らす。家電のサブスク・レンタルサービスを創出
株式会社 KabuK Style	旅をもっと日常に、人を豊かに。旅のサブスク®「HafH (ハフ)」の挑戦
ファインディ株式会社	開発組織の課題を可視化 エンジニアがもっとかがやける環境をつくる
株式会社タイミー	サービスの急成長を技術面で支えてきた Ruby on Rails
イタンジ株式会社	Ruby biz Grand prix 2024 大賞 不動産取引をなめらかにする「ITANDI」のテクノロジー
株式会社バイタルリード	地方の交通課題を三方よしで解決！出雲発・AI オンデマンド配車システム「TAKUZO」

## (2) RubyWorld Conference 2024 の開催

2024年12月5日(木)、6日(金)に島根県松江市で開催された RubyWorld Conference 2024 において開催実行委員会の構成団体として参加しました。

## (3) Ruby セミナー開催

### ①Ruby セミナー

2024年度は東京と大阪で集客型のイベント及びオンラインでのイベントも開催いたしました。これらのセミナーでは、Ruby の利用状況と今後のビジネストレンドをはじめ、開発現場で必要とされる技術情報など、状況に応じた話題提供をすることで参加者のニーズに合わせたセミナー機会を提供しました。

開催時期	イベント名	参加人数／登録者数
2024年7月	Ruby Association Activity Report	83名／90名
2024年7月	Ruby 技術者認定試験合格者ミーティング with まつもとゆきひろ	8名／13名
2024年9月	Ruby セミナー東京	53名／61名
2025年2月	Ruby セミナー大阪	33名／34名
2025年3月	オンラインセミナー	79名／86名

## (4) ジョブボード

Ruby の求人情報を掲載できるジョブボードを提供しています。Ruby アソシエーションの協賛会員を中心とした Ruby の求人情報を掲載しております。(非会員企業も求人掲載可能)

## (5) ウェブサイト

イベント情報や助成金に関するお知らせを掲載しました。

## 4) Ruby 技術者認定試験事業

学割に関しては認知度向上に伴い、昨年度と同等の受験者が学割を利用して受験をしています。また、2024年8月～11月にかけて再受験無料キャンペーンを実施しました。

認定者は、Ruby技術者としての技術力を公正に評価され、高い水準のRubyによるシステム開発能力を持つことを認定されます。認定によりRubyベースでシステム開発を行ううえで必要な基礎的な知識と応用力をもつことをアピールすることができます。

試験の合格者は、当財団が「Ruby Association Certified Ruby Programmer」として認定します。現在は、国内(試験区分：Silver、Gold)、海外(試験区分：Silver)で実施しており、2012年10月より当財団が直営実施(CBT受験環境、オペレーションはプロメトリック社に委託)しており、安心して受験いただける環境を提供しています。

## 5) 事業者認定事業

従来から実施している認定システムインテグレータプログラム(Ruby の高い技術力を持った企業を認定)に加えて、2012年10月から認定教育機関プログラム(Ruby の教育をおこなう高い技術を持った企業を認定)、認定サポート事業者プログラム(Ruby のサポ

ートサービスを提供する高い技術を持った企業を認定)、及び認定クラウドサービス事業者プログラム(Ruby アプリケーションの運用に適したクラウドサービス(IaaS、PaaS)をおこなう高い技術を持った企業を認定)の各プログラムを実施しています。

2025年3月31日時点での認定企業数は以下のとおりです。

認定種別	Gold	Silver
認定システムインテグレータプログラム	33(34)	37(38)
認定教育機関プログラム	5(6)	3(3)
認定サポート事業者プログラム	2(2)	—
認定クラウドサービス事業者プログラム	1(1)	—

※( )内は前年度数

## 6) 協賛会員事業

### ・会員資格

法人、任意団体及び個人

### ・会員種別、会費

年会費 1口 10万円(4月を開始月とします)

①Platinum Sponsor 5口以上(50万円以上)

②Gold Sponsor 2口～4口(20万円～40万円)

③Silver Sponsor 1口(10万円)

2025年3月31日時点での協賛会員数は、以下のとおりです。

Platinum :	Gold :	Silver :
年間5口以上	年間2口～4口	年間1口
16(14)	13(15)	48(44)

※( )内は前年度数